

- ☆2016春季生活闘争 第3次行動
- ☆2016春季生活闘争 第3次行動/2016春闘回答集計
- ☆2016春季生活闘争 第4次行動/民進党岡田代表と意見交換
- ☆青年委員会民進党青年局との意見交換/女性のためのSTEP UPセミナー
- ☆平和集会・平和行動の日程
- ☆各種研修のお知らせ/地域フォーラムお知らせ
- ☆ネットワークSAITAMA21新規協力店/「私の提言」募集/5月の行動日程
- ☆あけぼのビル

2016春季生活闘争3次行動

中小企業の労働条件格差是正に関する 経営諸団体への要請行動を実施

3月24日(木)、3月25日(金)の両日、埼玉県経営者協会・埼玉県商工会連合会・埼玉県中小企業団体中央会・埼玉県商工会議所連合会の4団体へ、中小企業の賃金格差是正を求める要請行動をおこなった。

要請では、労働政策委員長の平尾副会長より日本経済の動向や県内の中小企業の業況が“経済の好循環実現”に対し正念場に差し掛かっており、政労使それぞれが地域経済の活性化への取り組みをしっかりと継続していく必要があることを伝えた。

あわせて、2016春季生活闘争において企業規模間の賃金格差是正・非正規労働者の処遇改善などの動きが着実に進展しており、この流れを中小・地場を含めたすべての働く仲間に波及させていく必要があることを伝え、2016年の**連合埼玉ミニマム賃金:35歳で222,000円**を満たしていない企業はこの水準以上に引き上げることを要請した。

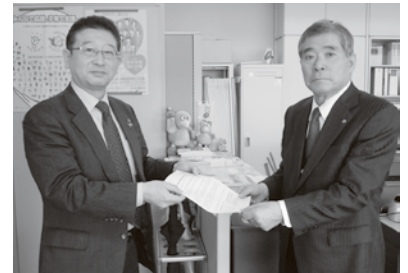
経営団体からは、中小企業の収益は向上しておらず雇用を守ることで精いっぱいであるという業況感が示される一方で、人材を確保し人手不足を解消するために中小企業における大手との賃金格差を是正していく必要がある、との認識が示された。また、中小企業の収益基盤を確かなものとするためには原材料費の上昇分などをきちんと製品価格に転嫁できるようになることが必要であり、経営団体としても社会や業界に対して強く訴えていく、との説明があった。

連合埼玉の要請に対しては、「収益が上がれば従業員に分配したいと考えている経営者は多い、要請の趣旨も含め会員企業に周知していく」とのコメントがあった。

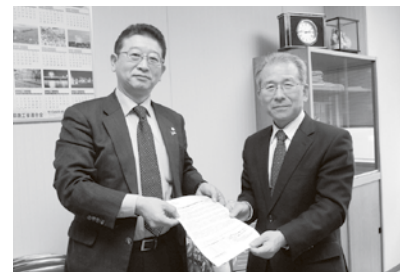
連合埼玉では、今後の地域の中小企業活性化に向けた運動とともに、「底上げ・底支え」「格差是正」の実現に向けた取り組みを継続強化していく。

連合埼玉ミニマム賃金

1996年より中小企業労働者の企業規模による賃金格差を是正するため、「〇〇円以下の賃金をなくす」ことをめざす運動として設定している。金額水準は、埼玉県内の中小企業に勤める組合員の賃金実態の第1十分位(下から10%)をベースに、生活保護基準や連合の考える最低限の生計費を勘案して設定している。



埼玉県商工会議所連合会にて



埼玉県商工会連合会にて



埼玉県中小企業団体中央会にて



埼玉県経営者協会にて

地域協議会2016春季生活闘争3次行動

連合埼玉の要請行動と時を並行して、各地域協議会にて、中小・地場企業で働く者の月例賃金の底上げと企業規模による格差の是正にむけ、地域商工団体に対する要請を3月下旬から4月下旬にかけておこなった。この行動は、各地域での街宣行動による県民へのアピール行動と連動したものとなっている。



さいたま地域協議会 /
さいたま商工会議所



西部第四地域協議会 /
久喜市商工会



秩父地域協議会 /
秩父商工会議所



東部地域協議会 /
久喜市商工会



東部地域協議会 /
春日部市商工会議所



北埼玉地域協議会 /
羽生商工会



北埼玉地域協議会 /
加須商工会

連合 2016春季生活闘争 臨時回答集計 (4月14日現在)

1. 賃金引き上げ

平均賃金方式 (集計組合員数による加重平均)

平均賃金方式	2016回答 (2016年4月12日集計)				昨年対比	2015回答 (2015年4月14日集計)		
	集計組合数	定算相当込み	定算相当込み	集計組合数		定算相当込み	定算相当込み	
	集計組合員数	賃上げ計	賃上げ計					
	2,672組合 2,182,185人	6,077円	2.06%	▲593円 ▲0.18ポイント	2,587組合 2,157,261人	6,670円	2.24%	
300人未満計	1,707組合 173,339人	4,715円	1.91%	▲213円 ▲0.10ポイント	1,688組合 169,363人	4,928円	2.01%	
~99人	979組合 42,265人	4,207円	1.85%	▲113円 ▲0.05ポイント	979組合 43,800人	4,320円	1.90%	
100~299人	728組合 131,074人	4,885円	1.93%	▲259円 ▲0.12ポイント	709組合 125,563人	5,144円	2.05%	
300人以上計	965組合 2,008,846人	6,206円	2.07%	▲632円 ▲0.19ポイント	899組合 1,987,898人	6,838円	2.26%	
300~999人	601組合 323,410人	5,375円	2.00%	▲111円 ▲0.06ポイント	554組合 300,089人	5,486円	2.06%	
1,000人~	364組合 1,685,436人	6,371円	2.08%	▲734円 ▲0.22ポイント	345組合 1,687,809人	7,105円	2.30%	

※2016年と2015年で集計対象組合が異なるため、「引上げ額」と「引上げ率」の昨年対比は整合しない。

賃上げ分が明確にわかる組合の、昨年と同一の組合での比較	2016回答 (2016年4月12日集計)						
	集計組合数 集計組合員数	額			率		
		計	定算相当分	賃上げ分	計	定算相当分	賃上げ分
	1,138組合 1,343,528人	6,242円	5,227円	1,015円	2.07%	1.74%	0.34%
300人未満計	598組合 77,230人	5,004円	4,103円	901円	1.96%	1.60%	0.36%
~99人	249組合 13,165人	4,885円	3,963円	922円	1.97%	1.60%	0.38%
100~299人	349組合 64,065人	5,028円	4,132円	896円	1.96%	1.61%	0.36%
300人以上計	540組合 1,266,298人	6,318円	5,296円	1,022円	2.08%	1.74%	0.33%
300~999人	318組合 174,738人	5,467円	4,444円	1,023円	2.02%	1.64%	0.38%
1,000人~	222組合 1,091,560人	6,454円	5,432円	1,022円	2.09%	1.76%	0.33%

2016春季生活闘争4次行動(中小・地場解決促進)

賃上げ・格差是正の流れをすべての働く仲間へ波及させよう!

2016春季生活闘争における中小・地場組合の解決促進に向け、4月5日(大宮駅)、4月8日(南越谷駅)、4月11日(熊谷駅)、4月13日(川越駅)、4月15日(川口駅)の5日間、各地域協議会と連携し街頭宣伝活動をおこなった。

本行動では、各構成組織より交渉状況報告をおこない、また、3月末時点までに引き出した回答の受け止めとして以下の点をアピールした。

①過去一年間での物価上昇がほとんど無い中で賃上げを獲得できていることに加え、中小組合の賃上げ率が大手に迫る結果となっていることから、「底上げ・底支え」「格差是正」が着実に進みつつある。②非正規労働者の賃上げが昨年に対してプラスとなっており、引き上げ率では正規労働者を上回っているということも格差是正にむけた大きな成果のひとつである。③今後、交渉を進める組合がこれまでの先行組合の流れを絶やさぬ回答を引き出せるようにすることがとても重要である。

あわせて、クラシノソコアゲ応援団!としての取り組み項目および男女平等課題の解決に向けたアピールもおこなった。



■アピールした役員

小林会長
佐藤事務局長
斉藤執行委員
小濱執行委員
■女性委員会
新山副委員長
大畑事務局長
古賀・中島幹事

4/5 大宮駅



■アピールした役員

佐藤事務局長
斉藤執行委員
永野執行委員
間中執行委員
芳賀副事務局長
■女性委員会
上杉委員長
半田・桑川幹事

4/8 南越谷駅



■アピールした役員

小林会長
浅見副会長
持田副会長
芳賀・小林副事務局長
■青年委員会
佐藤洋太事務局長
■女性委員会
上杉委員長

4/11 熊谷駅



■アピールした役員

佐藤事務局長
佐藤執行委員
倉持執行委員
荻野執行委員
芳賀副事務局長
■青年委員会
川島副委員長
■女性委員会
古賀・八戸・木村幹事

4/13 川越駅



■アピールした役員

牧田副会長
佐藤事務局長
芳賀・近藤副事務局長
■青年委員会
川島副委員長
■女性委員会
斎藤幹事

4/15 川口駅



民進党 岡田代表と意見交換

4月6日(水)民進党の岡田克也代表が連合埼玉を訪れ、小林直哉会長、以下四役と懇談した。岡田代表は、新党について「政権交代可能な政治を作るために、一歩前に進む選択をした。新しいメンバーも加わり緊張感と刺激があり、活性化していると感じている。参院選が目前なので、さまざまな準備を民進党の名前を浸透させるのと並行して進めなければならない」と話した。小林会長は「新党結成は自民党の一強



意見交換の様子

政治からの脱却を求める国民の受け皿を作り、政権を託すに足る党を再び目指すため、と受け止めている。一方で国民の民進党への期待はあまり高くはない。野党はしっかり政策を練り上げ、出番が来たら力を発揮してほしい」と応じた。

「民進党への関心を取り戻すための戦略は」との問いに岡田代表は「安倍首相のように、何をやるのか話さないで、あやふやな掛け声だけ発信するのはダメ、やるからにはしっかり中身を考えて、自民党にはできない政策を打ち出すことが必要」と話した。



挨拶をする岡田代表

～青年層の更なる活性化を目指して～

青年委員会 民進党埼玉県連市民青年局との意見交換会を実施!

青年委員会は、3月24日に「民進党埼玉県連市民青年局との意見交換会」を実施した。青年委員会では活動方針の1つとして「教育・学習活動の推進」を掲げており、その中でも政治活動の必要性や理解度を深めるために連合埼玉推薦議員との意見交換会の開催は最重要項目に位置付けている。

当日は、民進党埼玉県連市民青年局長である三神尊志さいたま市議をはじめ、県議会議員2名、市議会議員4名、特別ゲストとして大野元裕参議院議員に参加いただいた。意見交換会では、18歳選挙権となることもあり、若者層に政治への関心を持ってもらうためには、青年委員会が実施する街宣活動などにおいて、どのように訴えていくことが重要なのかについて論議した。

大野参議院議員からは、国政が取り組む若年層の課題やテーマについて説明と訴えかけるターゲットを明確に定めることも重要であるとのアドバイスがあった。また、三神青年局長からは、若年層への投票促進に力を入れてほしいとの要望が述べられた。その後の論議においても訴える姿勢のあり方から、若年層の課題を他世代に波及させる必要性にまで多岐におよび、非常に実り多きものとなった。青年委員会では、今後も様々な機会をつうじて政治学習や推薦議員との連携に力を入れ、若年層ならではの勢いある活動を展開していく。

青年委員会事務局長 佐藤 洋太



大野元裕参議院議員



三神尊志さいたま市議

～女性が社会でかがやくために～

女性のためのステップアップセミナー(初級編)

女性委員会は、4月20日(水)大宮ソニック805会議室において、各構成組織から27名の参加のもと、女性のためのステップアップセミナー(初級編)を開催した。

冒頭、女性委員会上杉委員長より「ワークライフバランスの実現と、働き方に対する社会全体の考え方を変えていく必要がある」との挨拶があった。その後、民進党政務調査会長の山尾志桜里衆議院議員を招き『社会でかがやくために』について講演いただいた。女性の声が政治を動かせる、一人一人が自分の役割を認識・分担し、自分のできる範囲で粘り強く活動することで、政治につなげていくことができる、とお話いただいた。

また、連合総合男女平等局長・井上久美枝氏の講演『連合の男女平等参画の取り組みについて』では働く女性の環境も良く管理職も多い企業は、業績も上がっていることに触れた。男女がともに働きやすい環境を実現することの必要性と、労働組合において女性の活躍の場を増やすことの重要性を教えていただいた。



実習の様子 猪俣恭子氏

午後は猪俣恭子氏(株式会社storyI)を講師とし『上手に相談にのるための心構えとコミュニケーションスキル』についての実習をおこなった。3人1組で模擬演習を重ねながら、相談にのる時は相手に関心を持ち相手の強みを探すこと、相手に敬意を払うことが大切であると学んだ。参加者からは、今日のセミナー内容を構成組織に持ち帰り周知していきたいとの声も上がり、成功裏に終えることができた。



山尾志桜里衆議院議員



参加者のみなさん

女性委員会幹事 中島 彩香

未来につなぐ平和への想い

～2016平和集会～

平和行動に先立ち、平和の尊さや戦争の悲惨さを風化させることなく次代に継承することを目的として、連合埼玉主催による「平和集会」を開催します。今回は、埼玉県内にある平和や戦争を扱う施設である、埼玉ピースミュージアム、吉見百穴の地下軍需工場跡地、原爆の凶丸木美術館を見学し(バスで移動)、平和4行動へむけた事前学習ならびに平和への希求にむけた集会とします。

日時 2016年6月4日(土) 13:00～17:30(受付開始12:30～)

場所 埼玉ピースミュージアム 講堂
埼玉県東松山市岩殿241-113 TEL: 0493-35-4111

行程 13:00～ 埼玉ピースミュージアム見学(学芸員の説明含む)
14:20～ バス移動
14:50～ 吉見百穴の地下軍需工場跡地見学
15:30～ バス移動
16:00～ 原爆の凶丸木美術館見学(学芸員の説明含む)
17:00～ バスで埼玉ピースミュージアムに戻り、解散(17:30予定)
(バスの移動中と吉見百穴ではボランティアガイドの説明があります)

参加対象 構成組織、地域協議会、青年委員会、女性委員会、シニア連合、組合員の家族にも参加を募ります。参加申込は連合埼玉発信文書第95号を参照してください。
平和行動への参加を予定されている方、ご検討中の方は、事前学習の場として積極的にご参加ください。

「願う」平和から「叶える」平和へ

～2016平和行動日程～

【平和行動in沖縄】

日程 2016年6月23日(木)～25日(土)
内容 ≪1日目(6/23)≫
2016平和オキナワ集会
≪2日目(6/24)≫
(1)ピース・フィールドワーク
(2)「米軍基地の整理・縮小」、「日米地位協定の抜本改定」を求める集会・デモ

【平和行動in広島】

日程 2016年8月4日(木)～6日(土)
内容 ≪1日目(8/4)≫
内容調整中
≪2日目(8/5)≫
2016平和ヒロシマ集会
≪3日目(8/6)≫
広島市原爆死没者慰霊式ならびに平和祈念式

【平和行動in長崎】

日程 2016年8月8日(月)～10日(水)
内容 ≪1日目(8/8)≫
2016平和ナガサキ集会
≪2日目(8/9)≫
(1)長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典
(2)ピース・ウォーク
(3)万灯流し

【平和行動in根室】

日程 2016年9月10日(土)～12日(月)
内容 ≪1日目(9/10)≫
移動
≪2日目(9/11)≫
2016ノサップ集会
≪3日目(9/12)≫
博物館網走監獄見学 他

平和行動in沖縄・in広島・in長崎への献納「折鶴」を募集中!

連合埼玉では、沖縄、広島、長崎の平和行動の参加者にて、平和への願いを込めた「折鶴」の献納をおこなっています。「折鶴」作成のご協力、よろしくお願ひします。 **募集締め切り 7月25日(月) 連合埼玉必着**
取り組みについては、連合埼玉発信文書第78号をご参照ください。

災害ボランティア救援隊

隊員研修(中級編)開催のお知らせ

災害ボランティア救援隊では、隊員研修(中級編)を6月18日(土)に開催します。研修では、今年度新たに「埼玉県防災学習センター(鴻巣市)」を利用して地震・暴風・煙・消火の体験学習と、連合本部より山根木晴久総合組織局長を講師に招き、「3.11の対応から想定される、首都直下型地震への対応」と題した講義をおこないます。

講義では、東日本大震災発生直後からの連合・地方連合会での様々な対応・経験を踏まえ、首都直下型地震が発生した際に、連合・地方連合会はどのような対応が想定され、ボランティア隊はどのような活動を担うのか、あらかじめ学ぶ予定です。

防災センターでの体験学習および講義内容を通して、隊員の皆さんに日頃から危機意識を持ち、災害に備えてもらうための学習とします。

詳しい募集要項は「連合埼玉」発第86号(4月6日発行)をご参照ください。募集締め切りは6月3日(金)です。

ぜひ、多くの隊員の参加をお願いします。



煙体験



地震体験

メンタルヘルス研修会(応用編)を開催します!

「職場における心の健康問題(うつ病)」への対応は、労使共に連携し取り組まなければならない重要な課題です。職場でのメンタル不調の予防につながる取組みとして、職場でのコミュニケーションやマネジメントに必要なアンガーマネジメントについて学ぶ研修会を開催します。労使のみなさんの積極的な参加をお願いします。

日時：2016年6月10日(金)13:00~16:30

場所：JA共済埼玉ビル

内容：「職場でのコミュニケーションにあたり～アンガーマネジメント～」

講師：藤田 潮(ふじた うしほ)氏 (and Cs代表 アンガーマネジメントファシリテーター)

2016地域フォーラム

「働きがいのある職場から地域の活性化を!」を開催します!

職場における“働きがい”の追及が企業を活性化させ、企業の活性化が地域の活性化を生むとの観点で、労働組合のみならず経営団体、行政機関なども含めた関係諸団体との連携をはかり、今後の活動につなげることを目的に、(一社)埼玉県経営者協会と共同でフォーラムを開催します。

働く皆さんの将来不安を払拭するための、労使共通課題への対応を検討する場となります。積極的な参加をお願いします。

日時：2016年7月20日(水)13:00~16:45

場所：ラフレさいたま3F「櫻ホール」

内容：①基調講演「企業活性化を導く人施策について(仮)」(立教大学 萩原なつ子教授)

②パネルディスカッション「働きがいのある職場から地域の活性化を!」

コーディネーター：立教大学 萩原なつ子教授

パネラー：連合埼玉・埼玉県経営者協会・埼玉県雇用労働局
埼玉労働局雇用環境・均等室

(株)モンテローザの一部店舗で利用可能に!!

～ ネット21「ボランティア・カード」利用店拡大中 ～

4月より下記店舗で利用が可能になりました。なお、今後も拡大をしていく予定です。

利用店舗

目利きの銀次(和光市南口駅前、浦和西口駅前、本川越駅前)
 山内農場(和光市南口駅前、川越西口駅前、大宮東口駅前、大宮西口駅前、浦和西口駅前)
 魚民(川越西口駅前、大宮東口駅前、大宮西口駅前、浦和駅東口駅前、浦和西口駅前)
 月の宴(大宮東口駅前)、白木屋(大宮東口駅前)、千年の宴(浦和西口駅前)、笑笑(本川越駅前)

サービス

①利用金額の10%割引 ②宴会コース(飲み放題付き)6名以上で1名分の料金無料
 *①②とも他の優待サービス(単品飲み放題含む)との併用不可
 *①飲食の合計が2,000円以上より利用可、値引き上限5,000円まで

第13回 私の提言『働くことを軸とする安心社会』の実現に向けて 募集!

募集内容
 連合が提起している「働くことを軸とする安心社会」の実現につながる具体的な提言をお寄せください。(オリジナルで未発表のものに限る)

応募資格
 どなたでも応募できます。

応募方法
 電子媒体(E-mailなど)による応募

応募先・問い合わせ先
 公益社団法人 教育文化協会
 電話 03-5295-5421
 E-mail info-lic@ebu.jtuc-rengo.or.jp
 詳しくは「教育文化協会 私の提言」

応募締切 2016年8月18日(木) 必着

表彰
 優秀賞 表彰盾と副賞 20万円
 佳作賞 賞状と副賞 10万円
 奨励賞 賞状と副賞 3万円
 新設 学生特別賞 賞状と副賞 月1万円の奨学金×12ヶ月
※応募前には、もちろん記念品を贈呈(除く、入賞者)
 ※発表 2016年9月16日(金)予定

連合は、初代事務局長である故・山田精吾氏の遺志を受け創設された「山田精吾顕彰会の論文募集」事業を継承し、2004年から「私の提言 連合論文募集」をおこなってきました。

第13回目となる今回も、連合が提起している「働くことを軸とする安心社会」の実現につながる提言を広く募集します。皆さんからの提言を活かしながら、労働運動をさらに前進させたいと考えています。

現在予定される5月の日程表です

5月	行事等	
	連合埼玉・事務局	地協・産別・労福協・福祉事業団体・県・上部・外部団体
1日 日		北埼玉地域協議会地域メーデー(9:30～・さきたま古墳公園、10:00～・羽生市体育館)
2日 月		
3日 火		
4日 水		
5日 木		
6日 金		
7日 土		
8日 日		
9日 月	女性委員会「第5回幹事会」(18:00～・連合埼玉会議室)	
10日 火	①第6回四役会議・拡大執行委員会(10:00～・13:00～・ときわ会館) ②第1回組織拡大推進者連絡会(15:30～・ときわ会館) ③中央労金埼玉県本部事業報告会(17:00～・ときわ会館)	
11日 水	青年委員会「国会議事堂・日本銀行見学」(9:45～・参議院議員会館、日本銀行本店)	埼玉労福協第1回理事会(14:00～・ときわ会館)
12日 木	ネット21「第1回運営委員会」(10:00～・連合埼玉会議室)	①本庄・児玉都市地域協議会「幹事会」(18:30～・はにぼんプラザ) ②経営者協会「定時総会」(13:30～・パレスホテル) ③連合「第18回環境フォーラム」(13:30～・全電通労働会館)
13日 金		
14日 土	組合役員教育プログラム実務⑩(13:00～・あけぼのビル)	①大野もとひろ大宮事務所「開所式」(10:00～・ネット21大宮事務所) ②安心と信頼の医療と介護2016中央集会(13:00～・よみうりホール) 北埼玉地域協議会組織代表者会議(16日・ホテルふせじま)
15日 日		比企地域協議会「第3回幹事会」(18:00～・中央ろうきん東松山支店)
16日 月	オルガナイザー研修会(養成)(10:30～17:00・あけぼのビル3F)	
17日 火	政策フォーラム(10:00～・県民健康センター/市民会館うらわ)	
18日 水	組合役員教育プログラム実務⑩(13:00～・あけぼのビル)	
19日 木	女性のための全国一斉労働相談ダイヤル(～20日・10:00～19:00)	連合関東ブロック「2016退職者連合組織代表者会議」(14:00～ 20日11時・石和温泉郷ホテルふじ)
20日 金		JAM埼玉「第19回チャリティーゴルフ大会」(サンコー72ゴルフクラブ)
21日 土	組合役員教育プログラム実務⑩(13:00～・あけぼのビル3F)	
22日 日		ワークルール検定2016春(初級10:00～・中級14:00～)
23日 月		埼玉県生産性本部「定時総会」(15:30～・さいたま共済会館)
24日 火	オルガナイザー研修会(実務)(10:00～17:00)	埼玉公務労協「良い社会をつくる公共サービスを考える5.24埼玉集会」(18:30～・浦和コミュニティーセンター)
25日 水	組合役員教育プログラム実務⑩(13:00～・あけぼのビル3F)	
26日 木	埼玉シニア連合「第9回チャリティーゴルフ大会」(北武蔵カントリークラブ)	建設埼玉「第47回定期大会」(10:00～・大宮ソニックシティ)
27日 金		埼玉労福協「第8回定時社員総会」 「第2回理事会」(10:00～・11:30～・ときわ会館)
28日 土	組合役員教育プログラム実務⑩(13:00～・あけぼのビル3F)	
29日 日		
30日 月	ネット21「2016年度第1回評議員会」(10:00～・あけぼのビル)	
31日 火		

Akebono Building

あけぼのビル

事務局長

佐藤 道明

◆国民とともに進む。「民進党」結党

民主党と維新の党は3月27日に合流し、新党となる「民進党」を結党した。4月9日には民進党埼玉県総支部連合会の結党大会が開催された。民進党は結党宣言において、「自由」「共生」「未来への責任」を理念とし、国民とともに進むことを宣言した。

今回の両党の合流は、自民党一強政治からの脱却を求める多くの国民の思いの受け皿づくりを進める中、一つの成果が形を表したものと受け止める。今後、新党が有権者の信頼に足る選択肢を示し、二大政党的政治体制の一翼を担い得る政党となることを期待したい。

民進党の綱領には、「生活者」「納税者」「消費者」「働く者」の立場に立つことや、「すべての人に居場所と出番がある」共生社会といった内容が明記されており、存続政党である民主党の掲げてきた綱領の根幹部分は引き継がれているものと認識している。社会保障・税一体改革をはじめ、民主党政権でなければ成し得なかった数々の理念・政策・施策は民進党に引き継がれるべきであり、民進党には、現在と将来に責任ある政策を力強く打ち出してもらいたい。

加えて、民主党が政権を失った最大の要因であるガバナンスのつたなさを克服すべく、党内統治を徹底することを期待したい。

◆連合の民進党への対応

連合は4月14日開催の中央執行委員会で「民進党への対応について」次のように確認した。(一部抜粋)

【連合の考え方】

連合は、結成以来、政治活動の統一対応を追求し、10年の節目の1999年の第6回定期大会で「連合の政治方針」を改訂し、その確認事項において初めて「民主党基軸」と打ち出した。その後、民主党が2013年に策定した綱領の「私たちの立場」「私たちの目指すもの」が連合のめざす社会像と重なる中で、連携ならびに支援を強化してきた。民進党の「綱領」には、存続政党である民主党の綱領の根幹部分は引き継がれている。

【今後の対応】

民進党とは、その綱領を踏まえ、働く者・生活者の立場に立った政策実現のため、「連携」をはかることとする。その上で、社会保障・税一体改革をはじめ、存続政党である民主党がこれまで掲げてきた理念や政策が引き継がれるかどうか個別に検証するとともに、政策協議をつうじ、意見反映をはかることとする。なお、新党規約により従来の民主党本部の機構が大幅に変更となったた

め、具体的な「連携」のあり方については別途民進党との調整を進めることとする。

この内容について一部マスコミでは、連合が民進党との関係を「支援」から「連携」に「格下げ」あるいは「表現を後退」といった報道がなされた。このことについては、中央執行委員会において、また、その後の記者会見において、神津会長が「そういうことではない」と明確に否定している。

2015年10月の第14回定期大会で確認した2016～2017年度運動方針では、「多くの政策を共有する民主党との連携ならびに支援を強化し、政策実現をめざす」としている。この「支援」と「連携」は関係性の強弱を表しているものではない。新党としてスタートした民進党がどのような個別政策を策定するか、マニフェストを含めて見定める必要があることは当然のことである。よって、民主党時代と同様に「連携」をはかりつつ、具体的な意見反映も求めていくということが今回の「民進党への対応について」の基本的な趣旨である。

◆「民進党 はじまる。」

共同通信が3月26・27日でおこなった世論調査で、民進党に期待するか否かの回答比率は「期待する」26.1%、「期待しない」67.8%、民進党の政党支持率は8.0%であった。「まあ、こんなもんか」と思った人は多いと思う。しかし、ポジティブにとらえれば、期待する人が4人に1人いるということだ。政党支持率と期待感は違うが、民進党は「期待する」と答えた国民を支持者にしていくことが必要であり、「期待しない」人を「期待する」に変えていくための理念・政策・施策を国民に示さなければならない。

「民進党 はじまる。」の文字が書かれたのぼり旗を見たことのある人もいると思うが、こののぼり旗は民進党が結党したということを伝えているだけではないと思う。4月20日、連合埼玉女性委員会主催の「女性のためのSTEP UPセミナー」を開催し、山尾志桜里民進党政務調査会長に講演してもらったが、山尾氏の帰り際に次のような質問をした。「『民進党 はじまる。』何がはじまりますか」、山尾氏は私がつけている「クラシノソコアゲ応援団」のバッチを指さし、「民進党は普通の国民の皆さんのための政治を進める」と答えた。

立憲主義、民主主義、平和主義をないがしろにする安倍政権の一強政治に対し、多くの国民が疑問を持ち始めている。また、社会福祉や教育などでさまざまな問題が顕然化しており国民の将来への不安は高まっている。アベノミクスでは国民生活が豊かにならないどころか、そのマイナスの副作用が出てきている。

民進党が安倍政権への対抗軸を明確に打ち出し、働く者、生活者の不安を解消し、安心と希望を抱かせるような理念と政策を示すことが今こそ求められている。

2016.4.21